

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

ちりも つもれば 山となる

急がば まわれ

花より だんご

石の上にも 三年

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

百聞は一見にしかず

早起きは三文の得

備えあれば うれいなし

老いては 子に したがえ

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

山より 大きな ししは 出ぬ

たで食う 虫も 好きずき

情けは 人の ためならず

馬の耳に ねんぶつ

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

たなから ぼたもち

うりのつるになすびはならぬ

のれんに うでおし

船頭 多くして 船 山にのぼる

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

身から 出た さび

光陰 矢のごとし

はるの 日ざしと 花の かおり

さくらの 花びらが まう 道

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

せみの 声が ひびく 昼下がり

ひまわりが 空を 見あげる

すいかを 冷やして 待つ 午後

実りの 秋の 田んぼ道

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

冬の朝 白い息をはく

こたつで みかんを むく 時間

雪だるまを 二つ ならべる

つばきの 花が 雪に 映える

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

手を にぎって ゆっくり ひらく

せなかを のばして 前を見る

きょうも 一日 おつかれさま

むかしの 写真を見て 話す

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

台どころから ただよう だしの かおり

らじおから 流れる なつかしい うた

ゆうびん受けに とどいた たより

ならんで 歩いた 川ぞいの 道

うすい字の上をゆっくりなぞりましょう。

石の上にも 三年

案ずるより 産むが やすし

犬も 歩けば 棒に あたる

笑う門には 福きたる